

令和8年度 鹿島市 メールサーバ更改業務

仕 様 書

鹿島市

I. 仕様書概要説明

1. 調達の背景及び目的

近年、地方公共団体において取り扱う情報資産の重要性が高まる中、サイバー攻撃の高度化・巧妙化に伴い、電子メールを起点としたフィッシング、マルウェア侵入、なりすまし送信等の脅威への対策強化が求められている。

本市のメール基盤は、庁内外との連絡・通知の基盤として重要であり、機密性・完全性・可用性の確保に加え、送受信の確実性、運用管理の効率性、監査可能性の確保が必要である。

本調達は、現行メールサーバ(及び関連機器/ソフトウェア)を更改し、最新のセキュリティ対策・暗号化方式・運用監視を備えたメール基盤へ移行することで、安定運用と情報セキュリティの向上を図ることを目的として実施する。

※本仕様書は、現行環境の制約、庁内ネットワーク(LGWAN 接続系/インターネット接続系等)の分離方針、関係規程・セキュリティポリシーに適合することを前提とする。

2. 業務名および業務構成内訳

2-1. 業務名 令和8年度 鹿島市 メールサーバ更改業務 一式

2-2. 構築業務内容内訳

・メールサーバ(送受信/格納)更改	一式
・ウイルス/スパイウェア脅威対策	一式
・メール配送制御(リレー制御、送信制限、TLS 等)	一式
・監視、ログ取得/保管(監査対応を含む)	一式
・バックアップ	一式
・データ移行(メールデータ、アカウント、設定)	一式
・設計・構築・試験・本番切替・運用引継ぎ	一式

3. 整備する場所

鹿島市役所(鹿島市大字納富分2643番地1)

4. 履行期限

導入期限 : 令和9年2月26日(金)

システム運用期間 : 導入から5年間(予定)

5. 資料の取扱い

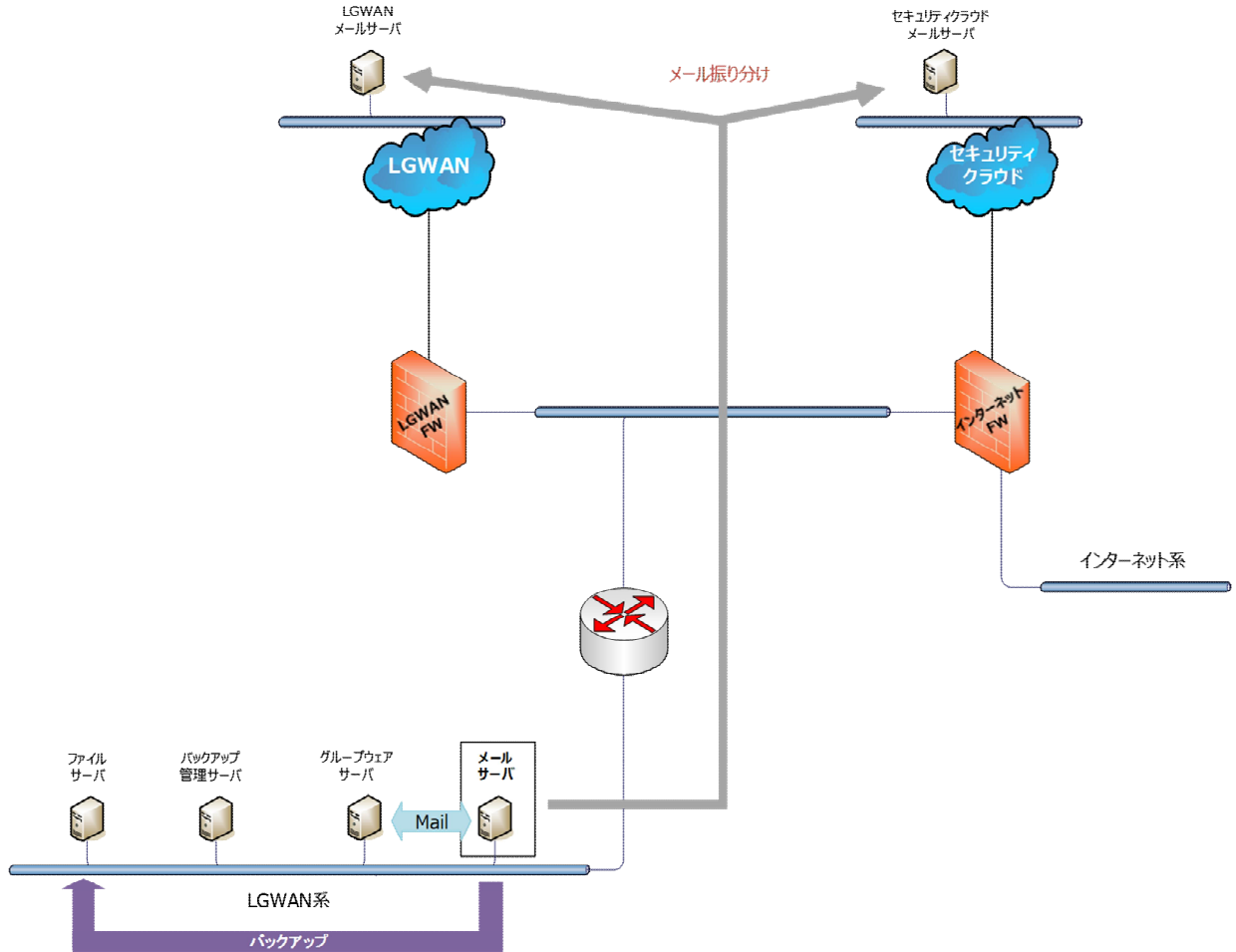
本業務において知りえた情報を第三者に漏らしてはいけない。また、本市から貸与された資料については、本業務完了後は速やかに返却しなければならない。

機密情報等の保持契約等を本市と締結し、業務履行中は適切な管理を実施しなければならない。

II. 技術的要件

1. システム構成イメージ図

「システム構成イメージ図」に示すとおりとする。



2. 導入機器

以下の機器については最低5年間継続利用できるライセンスと故障時のメーカー保守を付すること。利用ライセンスは引き渡し後最低5年間とし、機器保証はメーカーの規定によることとする。

	装置名	機能・用途	数量
1	メールサーバ本体 (MTA/メールボックス)	庁内外のメール送受信・格納	1式
2	セキュリティソフト	ウイルス/スパイウェア脅威対策	1式

3	バックアップ／保管ソフト	メールデータ及び設定情報のバックアップ・世代管理	1式
4	ログ保管機能	性能監視、ログ監視	1式
5	無停電電源装置	停電時の安全停止・保護	1式

3. 機器の特性要件

3-1. メールサーバ(送受信／格納)

【基本要件】

- ・インターネットとのメール送受信(SMTP)及び利用者向けメールアクセス(POP)を提供できること。
- ・OS及びミドルウェアは、導入時点でサポートが有効なものを採用し、5年間の運用期間を通じて保守が受けられること。
- ・管理インターフェースは業務通信から分離し、管理者アクセス制限が可能であること。

【機能要件】

- ・メール配送ログ(送受信ログ)、認証ログ、管理操作ログを取得し、検索・出力できること。
- ・TLS(SMTPS/STARTTLS)に対応し、暗号化通信を強制または段階的に適用できること。
- ・送信ドメイン認証(SPF、DKIM、DMARC)に対応し、ポリシー設定・鍵更新が可能であること。
- ・添付ファイルサイズ上限、送信先制限(ドメイン／アドレス)、配送遅延・再送制御等のポリシー設定が可能であること。
- ・メールデータのバックアップ／リストア、誤削除時の復元(世代管理)を実施できること。
- ・特定ドメイン宛のメールを指定のメールサーバへ中継できる機能を有すること。宛先毎の中継先は受注者に提供します。

【性能・容量要件(記入欄)】

・サーバ要件

サーバ参考型番① : PowerEdge R360 サーバー / DELL PowerEdge R360

サーバ参考型番② : PRIMERGY RX2530 M7 ラックベースユニット / PYR2537RDN

無停電電源装置① : Smart-UPS 750VA / DLT750RMJ1UNCOS6

無停電電源装置② : Smart-UPS SMT 1500RMJ / PY-UPAR152

無停電電源装置管理ソフトウェア : PowerChute Network Shutdown for Business

OS	Red Hat Enterprise Linux 9.x(最新の安定版)
CPU	Xeon 6 Performance 6353P 2.7G, 8C/16T 以上
メモリ	16GB 以上
HDD	SAS 実効容量 300GB 以上 冗長構成を行うこと
筐体	ラックマウント型
ネットワーク インターフェース	1000BASE-T×2 以上
無停電電源装置	750VA 以上 ラックマウント
保守	メーカーの 5 年間当日 4 時間オンサイト保守をつけること。
管理機能	管理用のインターフェースを有し、ブラウザ形式の GUI にてアクセス可能であり以下の機能を有する事。 ・オペレーティングシステムの状態に依存せずアクセスが可能で、リモートからサーバの電源コントロール(起動・切断)が可能 ・サーバのステータス、インベントリの集中管理、SNMP/メールによるアラート通知が可能なこと。

・想定利用者数 : 400 名

3-2. メールセキュリティ(ウイルス/スパイウェア脅威対策)

【要件】

参考型番① : Trend Micro Deep Security Agent Enterprise

参考型番② : ESET Server Security for Linux

- ・サーバに保存されるファイル及びメールスプール領域に対して、ウイルス検査を実施できること。
リアルタイム(オンアクセス)による検査及び、定期・手動によるスキャンが可能であること。
- ・ウイルス検出時には、感染ファイルに対して隔離、削除、駆除等の対処が可能であること。
また、管理者がポリシーに基づき対処方法を設定できること。
- ・ファイルアクセス時(読み込み・書き込み)の監視機能を有し、サーバ上でのウイルス拡散を防止できること。
- ・検出された不正ファイルについて、管理者が隔離領域を確認し、削除等の操作が可能であること。
- ・ウイルス検出および対処の履歴をログとして記録し、管理者が確認できること。
また、必要に応じて通知(メール通知等)が可能であること。
- ・定義ファイル及び検知エンジンの更新が可能であり、最新のウイルスに対応できること。
また、LGWAN 等の閉域環境においても運用可能な更新方式(オフライン更新、内部配布等)に対応すること。
- ・複数サーバ環境において、ウイルス対策設定や更新管理を一元的に管理できること(集中管理機能を有すること)。
- ・システム負荷を考慮し、スキャン時の CPU 使用率等の調整が可能であること。

3-3. ログ取得・監査対応

【要件】

以下のログについて取得、検索、外部サーバ等への出力・転送が可能であること。

- ・メール配送(送信元/宛先/日時/メッセージID/結果等)
- ・管理操作ログ(設定変更、管理者ログイン、権限変更等)

3-4. バックアップ/復旧

【要件】

参考型番 : Arcserve UDP 10.3 Agent for Linux

- ・メールデータ(メール本文、添付ファイル)及び設定情報(メールサーバ設定、ユーザ情報等)のバックアップを取得し、障害発生時に確実に復旧できること。
- ・バックアップは定期的(スケジュール設定)に自動取得できること。また、必要に応じて手動でのバックアップ取得が可能であること。
- ・バックアップデータは、メールサーバとは別の物理ストレージ(NAS等)または外部媒体に保存される構成とし、単一障害点とならないこと。
- ・バックアップデータの保存世代を管理できること(複数世代保持が可能であること)。
- ・誤削除、データ破損等に対して、特定時点の状態へ復元が可能であること。
- ・サーバ障害時には、バックアップデータからメールサーバを復旧できること。
- ・バックアップ及び復旧処理の結果についてログを記録し、管理者が確認できること。
- ・バックアップデータについては、必要に応じて暗号化およびアクセス制御が可能であること。
- ・LGWAN等の閉域環境において運用可能であり、外部クラウドサービスに依存しない構成とすること。

3-5. 移行要件(更改・切替)

【要件】

- ・現行環境の調査を実施し、移行計画(スケジュール、停止影響、リハーサル、切替手順、ロールバック)を提示すること。
- ・メールデータ(メールボックス、転送設定、エイリアス、配布リスト等)の移行を実施し、整合性を確認すること。
- ・DNS(SPF、DKIM、DMARC 等)及び証明書の切替が必要な場合は、手順を提示し、切替当日の手順書を作成すること。なお、DNS 管理業者に対して上記設定変更(追加・削除)の依頼資料を作成し提出すること。切り替え時は上記各設定項目が機能している事を確認すること。
- ・移行期間中のメールの取りこぼし防止策(並行稼働、転送、キュー保持等)を実装すること。

4. 機器設定および設定変更

受注者は要件に関する打ち合わせを本市と行い、詳細なパラメータを確定したのちに機器設定を行う。試験運用中に発生する追加、修正要件に対応すること。

Ⅲ. 性能・機能以外の要件

業務機能以外の詳細について、以下に示す。

1. 設置に係わる要件

- ・設置作業は本市担当者等による立会い、もしくは承認のもとに行うこと。
- ・サーバ搭載については、本市の指示により適切な場所に設置すること。
- ・搬入、作業に必要な備品(電源タップ、LAN ケーブル等)、消耗品、その他の必要な費用は全て本調達に含むこと。
- ・既存設備の大幅な配線更改等が必要となる場合は、別途協議とする。

2. 構築体制の提示

受注者は構築体制を事前に提出すること。

(体制図、役割分担、連絡体制、エスカレーションルートを明記すること。)

3. 検収

検収の時点においてすべての機器は本仕様書及び導入時の打ち合わせ合意事項に従って、設置すること。

仕様内容により提案された機能を有するか否かについては検収時の物品確認及び動作確認により判断する。

検収の際は受注者の担当者が必ず立ち会うこと。また、本市担当者の指示により説明等を行うものとする。

4. 納品資料

機器設置や動作確認が完了し、検収時には紙及び電子媒体にて設定情報を記載して文書を納品すること。

- ①成果物を PDF データ及び Microsoft Office (Word/Excel/PowerPoint) と互換性のある編集可能なファイル形式として準備し、媒体として本市へ2部(正/副)提出すること。
- ②「システム構成図(物理、論理)」「設定情報(パラメータシート)」「試験成績書※」「切替手順書」「運用手順書」「バックアップ/復旧手順書」「作業明細」および本市が必要とする資料を提出すること。

【試験項目(例)】

- ・単体試験(送受信、認証、暗号化、スパム/ウイルス検知、ログ出力等)
- ・結合試験(DNS 切替、外部経路、冗長切替、バックアップ/リストア等)
- ・切替リハーサル(本番同等手順での切替・ロールバック確認)

- ③その他、本契約を実施するにあたり本市担当者が求める資料提出および会議開催依頼等の依頼事項は適宜対応すること。

5. 作業進捗会議

- ・作業進捗会議などは少なくとも1月に1回は実施すること。実施手段や報告手段については両者協議のうえ決定するものとする。
- ・会議資料は事業者で作成し、開催日から2営業日以内に提出すること。

6. 保守(問い合わせ及びサポート対応)

- ・システム構築完成後に、故障、障害時の保守サポート体制を構築し体制図を提出すること。
- ・構築後5年間は以下の保守業務を行うこと。
 - ①障害時は原因切り分けを行い、復旧手段及び再発防止策を提示すること。
 - ②システム操作／動作に対するQA対応
 - ③システム不具合に対するQA対応、リモートもしくはオンサイトによる原因切り分け～対応
- ※他社システムが連携している場合は、全般的な事象確認を行い、弊社保守対象システムと連携先他社システムの状況を確認し、原因の切り分けを行うこと。
- ・保守対応時間は原則平日 8:30～17:30 とするが、運用に支障をきたす場合には両者協議の上、決定すること。

IV. 入札参加にかかる要件

以下の事項をすべて満たしていることが本件の入札参加資格要件とする。

- ・ISO/IEC 27001 に基づく情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 認証を取得している
- ・北部九州(佐賀県、長崎県、福岡県)に本店または支店を置いている。
- ・公告日時点で、令和7・8年度の鹿島市競争入札参加資格者名簿(物品購入・役務の提供)に登録があり、仕様のとおりに本物品の賃貸借契約ができる。

V. その他

- ・同等品については質疑期限内に担当課の承認を得ること。なお、同等品の内容はカタログ等を添付して、詳細に記入すること。
- ・入札金額は、仕様書を満たす経費すべてとし、消費税及び地方消費税を含まない額で入札する。
なお、入札回数は原則2回までとする。
- ・入札には機器の導入費用及び保守費用(60月分)の合算した額で計上すること。
- ・入札会の際に入札金額の内訳が分かる積算内訳書を提出すること。
- ・本件の導入費用等はリース契約とし、鹿島市、鹿島市の指定するリース業者及び落札業者との三者間で契約を締結することとする。
- ・保守業務委託契約については納入業者と市が保守業務委託契約(60月:長期継続契約)を締結することとする。